




代表質問通告書一覧 (12月5日)

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 (11番) 田中 惟允 (自由民主党)	<p><b>1 平成26年度の財政運営について</b></p> <p>県政の諸課題へ積極果敢に取り組んでいくためには、持続可能な財政運営が求められているところであるが、必要な施策の展開と持続可能な財政運営について、どのようにバランスを図っていこうと考えているのか、来年度の予算編成の基本的な方針と併せて、知事の所見を伺いたい。</p> <p><b>2 猿沢荘の外国人観光客のための施設としての活用について</b></p> <p>本年8月に施設廃止となった猿沢荘を、外国人観光客のための施設として、今後どのように活用しようとしているのか伺いたい。</p> <p><b>3 精神障害者に対する福祉医療制度の適用について</b></p> <p>奈良県の精神障害者に重い負担となっている医療費に対して、身体障害者や知的障害者と同様に福祉医療制度を適用し助成すべきと考えるが、どのように考えているのか、所見を伺いたい。</p> <p><b>4 県産材の販路拡大について</b></p> <p>先般、東京において県産材をPRする「奈良の木フェア」を開催されたが、どのような成果を期待しているのか。また、今後の県産材の販路拡大について、どのように考えているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(11番) 田中 惟允 (自由民主党)</p>	<p><b>5 移動ニーズに応じた交通サービス提供体制の構築について</b></p> <p>10月末に奈良県地域交通改善協議会において、路線バスとして運行することの必要性や効率性の判断基準となる客観的な指標に基づく補助や路線の廃止に係る数値基準が示されたが、今後、これらの指標を活用して、移動ニーズに応じた交通サービスの提供体制の構築に向けどのように検討を進めていくのか。</p> <p><b>6 JR西日本との包括的連携協定について</b></p> <p>鉄道会社と自治体の新しい関係が望まれる中、10月に県とJR西日本との間で包括的連携協定が締結されたが、その目的やねらいは何か、また、今後、この協定をどのように活かしていくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>
 <p>(26番) 岩田 国夫 (自由民主党 改革)</p>	<p><b>1 来年度の重点施策について</b></p> <p>来年度の予算編成は間近に迫っている。知事は、来年度、特にどのような施策に重点的に取り組もうと考えているのか。</p> <p><b>2 県営プール跡地へのホテル誘致について</b></p> <p>県営プール跡地へのホテル立地の実現に向けては、民間事業者の投資が必要であり、それを誘引するために、県として、思い切った手立てをうち、来る2020年のオリンピックに備え、ホテル誘致を是非とも実現していただきたいと考えている。今後、知事はどのような考えにより、ホテル誘致を進めていくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(26番) 岩田 国夫 (自由民主党 改革)</p>	<p><b>3 アセアン諸国との交流について</b></p> <p>今後、奈良県が元気な地域づくりを目指していくうえでは、アセアン諸国とともに発展していく方策を検討することが重要ではないかと考える。近年、経済成長が著しく、存在感を増す東南アジア諸国との連携・交流、さらには東南アジア諸国からの観光客誘致について、今後どのように展開しようと考えているのか。</p> <p><b>4 医師・看護師確保対策について</b></p> <p>奈良県の医療を支える医師・看護師の確保・育成について、今後、どのように進めていこうとしているのか、とりわけ、医師確保の観点から、奈良県立医科大学に県費奨学生配置センターをこの10月に設置されたが、その機能や今後の運営についても、併せて伺いたい。</p> <p><b>5 「道路整備基本計画」について</b></p> <p>(1) 県政の諸課題を解決するためにも、「道づくり重点戦略」の取組内容を継承しつつ、次期「道路整備基本計画」では、山積する道路課題への対応をより強く打ち出していく必要があると考える。これまで取り組んでこられた「道づくり重点戦略」の成果と山積する道路課題の解決に向けた次期「道路整備基本計画」における取組内容について、伺いたい。</p> <p>(2) 道路予算の確保について</p> <p><b>6 子どもたちの体力向上について</b></p> <p>「知・徳・体」を奈良県の子どもがバランスよく身に付けるために、積極的な対応や取組が継続的に必要なことは言うまでもないが、全ての基本である体力向上への取組を重要視すべきと考える。県教育委員会として、奈良県の子どもの体力の現状をどのように考えているのか。また、子どもの体力向上に向け、今後どのような取組を行っていくのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>県 土 マネジメン 部 長</p> <p>【要 望】</p> <p>教 育 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>( 6 番 ) 尾崎 充典 (民主党)</p>	<p><b>1 精神障害者への医療費助成制度について</b></p> <p>福祉医療制度の本旨である「対象者の健康の保持及び福祉の推進を図ることを目的として、医療保険制度の自己負担を助成する」という点を鑑み、精神障害者に対して、医療費助成制度を拡充すべきであり、その場合には、事業主体者である市町村に対し、どのように理解を得て進めているかと考えているのか。</p> <p><b>2 骨髄バンクのドナー登録について</b></p> <p>(1) 昨年につき、人口比率において全国 46 位という不名誉な奈良県の骨髄バンクにおけるドナー登録状況は看過できないと考えるがどうか。</p> <p>(2) ドナー登録の状況を踏まえ、これまでの一年間の取り組みについて、それ以前との比較をしてどのように総括するのか。その上で、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」の成立による効果をドナー登録者数増に結び付けるためには、県としてどのような施策が必要と考えているのか。</p> <p><b>3 ゾーン 30 を含む地域交通安全対策について</b></p> <p>最近注目されている「ゾーン 30」などの住宅地域等における総合的な交通安全対策や通常交通規制については、地域住民や警察、道路管理者である県、市等が協力をして調整を図りながら進めるものと理解をしているが、警察としてどのように考えているのか。また、「ゾーン 30」を住民が要望する場合、窓口になる機関等について併せて伺いたい。</p> <p><b>4 消防の広域化について</b></p> <p>来年 4 月に発足する奈良県広域消防組合の設立に向けた、現在の進捗状況について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>医療政策部長</p> <p>警察本部長</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>( 6 番) 尾崎 充典 (民主党)</p>	<p>5 県職員の定員の適正化について</p> <p>県民ニーズに充分に応えるため、現在の職員定数をどのように捉え、今後どのようにしていくのか。また、非正規雇用の実態についての認識を併せて伺いたい。</p>	<p>知 事</p>